

## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日～13日)

## 1.共生農業資源経済学セッション コーディネーター:坂下明彦

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S31	2017年2月7日	9:30-10:00	1	樋口 悠貴	高度経済成長期以後の北海道中山間地域における施設園芸作による大規模主産地化の過程—平取町トマト作を事例とした検証—	共生基盤学	共生農業資源経済学	農業経営学
S31	2017年2月7日	10:00-10:30	2	澤田 雄作	子牛価格の変動に関する分析	共生基盤学	共生農業資源経済学	開発経済学
S31	2017年2月7日	10:30-11:00	3	奥村 春香	ネパールにおける食料消費および農業生産の多様性と乳幼児の栄養状態に関する分析	共生基盤学	共生農業資源経済学	開発経済学
S31	2017年2月7日	11:00-11:30	4	山崎 優輔	シジミ漁業管理の経済経営的有効性—網走湖シジミ漁業を事例として—	共生基盤学	共生農業資源経済学	水産経営経済学
S31	2017年2月7日	11:30-12:00	5	本多 秀成	漁業協業化と集团的漁場利用の社会経済的意義に関する研究—八雲町漁協地区、寿都町歌葉地区、寿都町寿都地区を事例として—	共生基盤学	共生農業資源経済学	水産経営経済学
S31	2017年2月7日	13:30-14:00	6	王 エン	中国蘇南農村の家族形態と家族内扶養の性格—開弦弓村を事例に—	共生基盤学	共生農業資源経済学	地域連携経済学
S31	2017年2月7日	14:00-14:30	7	石谷 寛喜	店頭試験販売による国産赤身型牛肉の表示効果の検証と購買行動に関する研究	共生基盤学	共生農業資源経済学	地域連携経済学
S31	2017年2月7日	14:30-15:00	8	柏 絵織	農村地域における障害者の就労環境創出の取組み—北海道T町を事例として—	共生基盤学	共生農業資源経済学	地域連携経済学
S31	2017年2月7日	15:00-15:30	9	横山 茜	協働のまちづくり体制の構築に関する研究—うらほろスタイルを事例として—	共生基盤学	共生農業資源経済学	地域連携経済学
S31	2017年2月7日	15:30-16:00	10	渡邊 祥矩	セイヨウオオマルハナバチ外来種指定が北海道トマト産地の販売戦略に与える影響	共生基盤学	共生農業資源経済学	食料農業市場学

## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日～13日)

## 2.応用分子生物学セッション コーディネーター:木村淳夫

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N21	2017年2月13日	13:30-13:45	1	中石有美	Cry1AcトキシンレセプターとしてのコナガABCトランスポーターの機能解析	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N21	2017年2月13日	13:45-14:00	2	中神あゆみ	Cry44Aaトキシンのネッタイシマカにおけるレセプター調査	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N21	2017年2月13日	14:00-14:15	3	宇多桃香	Syndecanの昆虫細胞におけるバキュロウイルスレセプター機能の解析	生物資源科学	応用分子生物学	応用分子昆虫学
N21	2017年2月13日	14:15-14:30	4	中村 俊介	シロイヌナズナにおいてSPOT1/KNS3はホウ酸チャネルの小胞体からの搬出に重要である	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学

N21	2017年2月13日	14:30-14:45	5	藤川 哲平	シロイヌナズナにおけるハウ素の吸収と輸送に関する分子遺伝学的研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子生物学
N21	2017年2月13日	14:45-15:00	6	芹沢 領	<i>Zymomonas mobilis</i> 由来levansucraseとinvertaseの特異性変化に関する研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学
N21	2017年2月13日	15:00-15:15	7	松永 夏奈	glycoside hydrolase family 97 $\alpha$ -galactosidase求核触媒残基変異酵素におけるケミカルレスキュー反応とグリコシンターゼ反応に関する研究	生物資源科学	応用分子生物学	分子酵素学

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

3.植物育種科学セッション コーディネーター: 久保友彦

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S21	2017年2月7日	9:30-9:45	1	上 幸代	テンサイRf1座における多様な対立遺伝子に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2017年2月7日	9:45-10:00	2	徳光 雄介	ダイズの種皮緑形質をもたらすGsc1遺伝子の単離および種子色における人為選択への影響	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2017年2月7日	10:00-10:15	3	小矢崎 慧	イネ小穂の副護穎から内穎の形態形成にかかわる遺伝子の比較解析	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2017年2月7日	10:15-10:30	4	岩淵 恵佑	ハウレンソウの間性主働遺伝子座乗候補領域のゲノム構造解析	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2017年2月7日	10:30-10:45	5	新保 大樹	ダイズ登熟期の種子における窒素および炭素の動態に関する生理遺伝学的研究	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2017年2月7日	10:45-11:00	6	内山 大輔	日本在来フダンソウより発見された新規花粉稔性回復遺伝子に関する遺伝学的研究	生物資源科学	植物育種科学	遺伝子制御学
S21	2017年2月7日	11:00-11:15	7	吉清 翼	ダイズにおける根系の多様性とバイオマスに及ぼす役割に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2017年2月7日	11:15-11:30	8	松尾 知晃	ダイズ種子におけるタンパク質の蓄積及び分配に関わる生理学的研究	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2017年2月7日	11:30-11:45	9	内山 堯	北海道在来イネ系統の温度に対する出穂およびストレス反応における育種学的研究	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2017年2月7日	11:45-12:00	10	中屋 楓	ダイズリポキシゲナーゼが種子生存力に及ぼす影響に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	植物遺伝資源学
S21	2017年2月7日	13:30-13:45	11	金岡 義高	アジアイネとアフリカイネの雑種における生殖隔離機構に関連した小孢子カルス形成能と花粉不稔性の遺伝育種学的研究	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2017年2月7日	13:45-14:00	12	両國 香	ウイルス感染がニンニクに及ぼす影響とウイルスフリー化技術の開発	生物資源科学	植物育種科学	植物病原学

S21	2017年2月7日	14:00-14:15	13	古谷 未咲	ウイルス感染トウガラシの次世代でのアスコルビン酸関連遺伝子の発現	生物資源科学	植物育種科学	植物病原学
S21	2017年2月7日	14:15-14:30	14	福本 沙弥	ペチュニアにおけるエピジェネティックな表現型の変化とその誘導機構に関する研究	生物資源科学	植物育種科学	細胞工学
S21	2017年2月7日	14:30-14:45	15	外川 靖子	Cucumber mosaic virus 2b protein alters the plant epigenome	生物資源科学	植物育種科学	植物病原学
S21	2017年2月7日	14:45-15:00	16	齋藤 希	アジアイネとアフリカイネを用いたツングロ病の罹病性緩和に働く内在性RTBV様配列の作用機構の比較解析	生物資源科学	植物育種科学	植物育種学
S21	2017年2月7日	15:00-15:15	17	加藤 美弥子	イネいもち病圃場抵抗性に関する分子遺伝学的研究	生物資源科学	植物育種科学	細胞工学
S21	2017年2月7日	15:15-15:30	18	西 隼太郎	人工コントロールRNAを用いたマルチプレックスRT-PCR-MPHIによるイチゴウイルスおよびジャガイモウイルス検出系の開発	生物資源科学	植物育種科学	植物病原学

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

4.作物生産生物学セッション コーディネーター:近藤則夫

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S22	2017年2月7日	9:30-9:45	1	池田 将樹	北海道におけるススキさび病に対する罹病性のススキ系統間差異およびススキさび病発生動態	生物資源科学	作物生産生物学	植物病理学
S22	2017年2月7日	9:45-10:00	2	大澤 央	日本におけるジャガイモ塊茎腐敗の発生生態	生物資源科学	作物生産生物学	植物病理学
S22	2017年2月7日	10:00-10:15	3	武井 俊大	ビタミンC前駆体や誘導体を利用したアスパラガスウイルスフリー化の改良	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学
S22	2017年2月7日	10:15-10:30	4	古川 智子	減圧下での1-MCP処理によるブロッコリー花蕾およびイチゴ果実の鮮度保持	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学
S22	2017年2月7日	10:30-10:45	5	山口 徹朗	夏秋どりイチゴ果実の糖および有機酸含量に及ぼす夜間LED照明およびフィルム被覆の効果	生物資源科学	作物生産生物学	園芸学
S22	2017年2月7日	10:45-11:00	6	井出 真結	アスパラガスの雌花形成にともなう雄蕊の発達不全に関する研究	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2017年2月7日	11:00-11:15	7	岡内 丈	ダットンソバにおけるルチノシデースの生理学的研究ならびに品種識別法の開発	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2017年2月7日	11:15-11:30	8	加藤 峻	バレイショ塊茎の肥大に関する研究	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学
S22	2017年2月7日	11:30-11:45	9	松山 光平	アスパラガスの花器官におけるサイトカイニン代謝酵素遺伝子の発現と単性花形成	生物資源科学	作物生産生物学	作物生理学

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S21	2017年2月8日	9:00-9:20	1	品川 風太	ホエイの入浴剤としての可能性	応用生物科学	食資源科学	酪農食品科学
S21	2017年2月8日	9:20-9:40	2	名倉 直登	北海道産乳用種去勢牛肉に対する消費者の嗜好性 -輸入牛肉および国産和牛肉との比較-	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2017年2月8日	9:40-10:00	3	大屋 桃	亜鉛プロトポルフィリンIX形成能の高い微生物の探索とその応用に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2017年2月8日	10:00-10:20	4	森 綾音	微生物による食肉・食肉製品の風味改善技術に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発学	食肉科学
S21	2017年2月8日	10:30-10:50	5	秋山 瑤子	黒毛和種牛ルーメン由来澱粉分解菌の生理機能解析	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2017年2月8日	10:50-11:10	6	上野 真知帆	飼料条件が若齢子牛のルーメン微生物相形成に与える影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2017年2月8日	11:10-11:30	7	岸 宏之	マメ外皮に含まれるオリゴ糖の特定と機能性評価	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2017年2月8日	11:30-11:50	8	坂中 優介	カシューナッツ殻液によるルーメン由来メタンガスの低減:作用機序と応用	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜栄養学
S21	2017年2月8日	13:00-13:20	9	岩野弘暉	ウシ子宮内膜におけるTRPチャネルの発現と活性に関する研究	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	13:20-13:40	10	小木曾貴季	発情周期及び妊娠初期におけるウシ雌性生殖器における水チャネルの発現動態解析	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	13:40-14:00	11	李 建焯	Roles of autophagic and lysosomal cathepsin status on preimplantation development of bovine embryos.	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	14:10-14:30	12	巖文静	ターメリック残渣給与がニワトリ精子運動性および生存性に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	14:30-14:50	13	椎名浩己	マウス卵母細胞における核置換操作が出生後の増体および採食量に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	14:50-15:10	14	田中愛子	マクロファージ遊走阻止因子が哺乳類初期胚発生に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	家畜改良増殖学
S21	2017年2月8日	15:10-15:30	15	山谷亮介	放牧肥育仔羊への赤ワイン搾汁残渣の給与が養分利用および肉の pastoral フレーバー原因成分に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	畜牧体系学
S21	2017年2月8日	15:30-15:50	16	西田竜一	放牧乳牛へのコーンサイレージ補給が食草量調節に及ぼす影響	生物資源科学	家畜生産学生物学	畜牧体系学

## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

## 6.食品科学セッション コーディネーター: 原 博

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N11	2017年2月7日	13:00-13:20	1	須賀久世	1型コラーゲン産生促進物質探索法の検討	応用生物学	食資源科学	食品機能化学
N11	2017年2月7日	13:20-13:40	2	竹本彩乃	食用素材からの腓リパーゼ阻害物質の探索	応用生物学	食資源科学	食品機能化学
N11	2017年2月7日	13:40-14:00	3	小泉光可	難消化性二糖メリビオースによるケルセチン配糖体の吸収促進に関する研究	応用生物学	食資源科学	食品健康科学
N11	2017年2月7日	14:00-14:20	4	長谷川大将	腸管におけるアルキル型リン脂質の吸収とプラスマローゲンへの変換に関する研究	応用生物学	食資源科学	食品健康科学
N11	2017年2月7日	14:40-15:00	5	井上 大輔	トウモロコシ由来ペプチドによるGLP-1分泌促進機構の解明	応用生物学	食資源科学	食品健康科学
N11	2017年2月7日	15:00-15:20	6	古賀 俊希	高脂肪高シヨ糖食摂取ラットにおける難消化性糖質摂取、SGLT2阻害薬投与の影響	応用生物学	食資源科学	食品健康科学
N11	2017年2月7日	15:20-15:40	7	加茂佳恵	胆汁酸負荷による血中アディポネクチン濃度の低下機構	応用生物学	食資源科学	食品栄養学
N11	2017年2月7日	15:40-16:00	8	多田幸司	一次胆汁酸による消化管透過性亢進作用	応用生物学	食資源科学	食品栄養学

## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

## 7.生化学・微生物科学セッション コーディネーター: 森 春英

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
大講堂	2017年2月8日	09:30-09:50	1	塩田 咲耶子	<i>Ruminococcus albus</i> 由来マンノシルグルコースホスホリラーゼの基質結合およびアロステリック特性に関するアミノ酸残基の機能に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発	機能性食品変換学
大講堂	2017年2月8日	09:50-10:10	2	武藤 洋彦	セロビオース2-エピメラーゼの触媒機能の分子基盤ならびに機能性食品への応用に関する研究	共生基盤学	食品安全・機能性開発	機能性食品変換学
大講堂	2017年2月8日	10:10-10:30	3	小坂 拓土	<i>Ruminococcus albus</i> NE1株由来cellobiose phosphorylaseを利用した新規オリゴ糖の合成	応用生物学	生命分子化学	生物化学
大講堂	2017年2月8日	10:30-10:50	4	坂井 未悠	腸内細菌のエピラクトース資化性および代謝関連酵素の解析	応用生物学	生命分子化学	生物化学
大講堂	2017年2月8日	11:00-11:20	5	愛甲 徹	<i>Corynebacterium glutamicum</i> におけるオキサロ酢酸蓄積型への代謝変化がリジン生産に与える影響	応用生物学	生命分子化学	微生物生理学
大講堂	2017年2月8日	11:20-11:40	6	松本 菜々恵	<i>Bifidobacterium longum</i> 105-A株のメチオニン利用におけるS-アデノシルメチオニン 回路の寄与	応用生物学	生命分子化学	微生物生理学



大講堂	2017年2月8日	11:40-12:00	7	中川路 伸吾	消化管における生存と定着に寄与するビフィズス菌遺伝子の探索系の構築	共生基盤学	食品安全・機能性開発	胃腸内圏微生物学
大講堂	2017年2月8日	13:30-13:50	8	佐々木 海	イノシトール遊離能をもつフィターゼに関する研究	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2017年2月8日	13:50-14:10	9	荒井 淳	包括的制御因子LaeAのイネいもち病菌における役割	共生基盤学	生物共生科学	植物圏微生物学
大講堂	2017年2月8日	14:10-14:30	10	竹石 桜子	イネいもち病菌由来非病原性タンパク質 AVR-Piaの多量体化に関する研究	共生基盤学	生物共生科学	植物圏微生物学
大講堂	2017年2月8日	14:30-14:50	11	池 晃佑	アラスカ永久凍土由来放線菌の休眠細胞における生残機構解析	応用生物科学	生命分子化学	応用菌学
大講堂	2017年2月8日	15:00-15:20	12	足立 匠	Thraustochytrid類を用いた高度不飽和脂肪酸生産と異種遺伝子の発現に関する研究	応用生物科学	生命分子化学	基礎環境微生物学
大講堂	2017年2月8日	15:20-15:40	13	渡部 智弘	出芽酵母の多重遺伝子発現系を利用した紅藻ササビノリ由来脂肪酸合成関連酵素遺伝子の機能解析	応用生物科学	生命分子化学	基礎環境微生物学
大講堂	2017年2月8日	15:40-16:00	14	竹内 友規	Biocharが貧栄養土壌における作物生育に与える影響について	共生基盤学	生物共生科学	植物栄養生態学
大講堂	2017年2月8日	16:00-16:20	15	鈴木 芽以	アーバスキュラー菌根菌 <i>Rhizophagus clarus</i> の大陸間隔離株におけるウイルス多様性と環境応答	応用生物科学	生命分子化学	根圏制御学

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日～13日)

8.有機化学セッション コーディネーター:高橋 公咲

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
座長 高橋 公咲								
N21	2017年2月8日	9:00～9:20	1	池田 陽	オカラ抽出物に含まれる <i>Bacillus</i> 芽胞形成誘導物質ジアセトナミンの単離精製・構造決定およびその類縁体を含む芽胞誘導活性評価に関する研究	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2017年2月8日	9:20～9:40	2	中川 詩織	化学的特性に立脚したチロシン代謝経路に関する研究	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2017年2月8日	9:40～10:00	3	林 寛容	ベタレイン色素種及び含有量の異なるスイスチャード ( <i>Beta vulgaris</i> ) カラータイプ間の温度ストレス応答比較	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
座長 重富 顕吾								
N21	2017年2月8日	10:20～10:40	4	石田 明子	味覚認識機構解明を目指した光アフィニティーラベル試薬類の合成	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学
N21	2017年2月8日	10:40～11:00	5	吉田 卓真	迅速な受容体機能解析を指向した新規クロスリンク試薬類の合成	応用生物科学	生命分子化学	生態化学生物学

N21	2017年2月8日	11:00~11:20	6	穴吹 友亮	低分子生理活性化合物の新規な標的タンパク質同定法の開発	共生基盤学	バイオマス転換学	化学生物学	
	座長 崎浜 靖子								
N21	2017年2月8日	13:00~13:20	7	矢口 賢臣	酵母細胞壁が誘導する植物の病害応答機構の解明	応用生物科学	生命分子化学	生物有機化学	
N21	2017年2月8日	13:30~13:40	8	小川 陽香	Hinokitiolがリグニン分解酵素に与える影響	応用生物科学	生命分子化学	木質生命化学	
N21	2017年2月8日	13:40~14:00	9	前川 有也	耐冷性リター分解菌由来リグニン分解酵素の探索	応用生物科学	生命分子化学	木質生命化学	

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

9. 生物生態・体系学セッション コーディネーター:大原昌宏

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N31	2017年2月7日	13:00-13:20	1	清水大輔	ミカドフキバツタの交尾行動:メスにおける精子受入と排出の定量化	環境資源学	生物生態体系学	昆虫体系学
N31	2017年2月7日	13:20-13:40	2	本多託也	Ecological study of salmonid fish and its cold-water disease pathogen flavobacterium psychrophilum using the environmental DNA method in natural rivers	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2017年2月7日	1340-14:00	3	河合駿	Genetic differences between early-run and late-run populations of chum salmon ( <i>Oncorhynchus keta</i> ) in Toyohira river	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2017年2月7日	14:00-14:20	4	小楠なつき	シワクシケアリ低閾値集団における集団的意思決定	環境資源学	生物生態体系学	動物生態学
N31	2017年2月7日	14:20-14:40	5	大橋佑喜子	濤沸湖と浜中町琵琶瀬における塩湿地植物群落と立地環境	環境資源学	生物生態体系学	植物生態体系学

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

10. 地域環境学セッション コーディネーター:平野高司

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N21	2017年2月7日	13:05-13:25	1	石渡康介	北海道空知の防風林が水田環境および水稻生育に与える影響	環境資源学	地域環境学	生物環境物理学
N21	2017年2月7日	13:25-13:45	2	高橋万輝登	冷害年における北海道全域の水田水温と深水管理の効果の評価	環境資源学	地域環境学	生物環境物理学
N21	2017年2月7日	13:45-14:05	3	辻本克斗	冷温帯林ミズナラ林冠葉における光合成機能とクロロフィル蛍光の季節変化	共生基盤学	生物共生科学	陸域生態系モデリング

N21	2017年2月7日	14:05—14:25	4	田邊健太郎	農耕地生態系の地下部純一次生産量および微生物呼吸の非破壊的推定	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2017年2月7日	14:25—14:45	5	森田峻輔	都市公園の芝生の窒素収支の解明 - 刈草分解と地形の影響の評価	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2017年2月7日	14:45—15:05	6	吉村元博	インドネシアの土地利用が異なる酸性硫酸塩土壌における温室効果ガス排出の制限要因の探索および鉄添加が与える効果の評価	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2017年2月7日	15:20—15:40	7	Yang Fu	Effects of chemical fertilizer and manure application on dissolved carbon leaching and carbon budget of a managed grassland in southern Hokkaido, Japan	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2017年2月7日	15:40—16:00	8	Vecky Dwi Kuswandora	Effect of Renovation on Greenhouse Gas Emissions in a Managed Grassland	環境資源学	地域環境学	土壌学
N21	2017年2月7日	16:00—16:20	9	濱本 亨	The effect of land-use change in natural ecosystems in Zambia in relation to soil animal/microbial community	共生基盤学	生物共生科学	環境生命地球化学
N21	2017年2月7日	16:40—17:00	10	下妻 萌	Effects of rice husk biochar application and high moisture condition on decomposition of organic matter (hairy vetch) and the nitrogen cycle in volcanic ash soil	共生基盤学	生物共生科学	環境生命地球化学
N21	2017年2月7日	17:00—17:20	11	千葉 茜	Effect of soil microbial diversity on maize decomposition and on Fusarium graminearum	共生基盤学	生物共生科学	環境生命地球化学

2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日～13日)

11.森林資源科学セッション コーディネータ:小泉章夫

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
W109	2017年2月1日	9:10-9:30	1	小川真由	樹木組織中における標識モノリグノール類の同位体顕微鏡	環境資源学専攻	森林資源科学講座	森林化学
W109	2017年2月1日	9:30-9:50	2	鶴原正啓	セルロースアセテートナノファイバーの調製に関する研究	環境資源学専攻	森林資源科学講座	森林化学
W109	2017年2月1日	9:50-10:10	3	大石 哲	都市公園に植栽された広葉樹樹下に発生したキシメジ属菌について	環境資源学専攻	森林資源科学講座	森林資源生物学
W109	2017年2月1日	10:10-10:30	4	山本航平	河川源流部に生息する水生不完全菌の群集に及ぼすドマツ人工林施業の影響	環境資源学専攻	森林資源科学講座	森林資源生物学
W109	2017年2月1日	10:30-10:50	5	阿部美聡	海浜植物から単離した根部エンドファイト	環境資源学専攻	森林資源科学講座	森林資源生物学
W109	2017年2月1日	11:00-11:20	6	齋藤のぞみ	木材の部分横圧縮における内部欠損の影響	環境資源学専攻	森林資源科学講座	木材工学
W109	2017年2月1日	11:20-11:40	7	佐野晃基	枠組壁工法開口壁の面材形状によるせん断挙動の変化	環境資源学専攻	森林資源科学講座	木材工学
W109	2017年2月1日	11:40-12:00	8	蓮佛喬	木材の収縮による圧締圧が丸ほぞ接着接合の引抜き性能に与える影響	環境資源学専攻	森林資源科学講座	木材工学



## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月1日~13日)

## 12.森林・緑地管理学セッション コーディネーター: 丸谷知巳

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
N31	2017年2月2日	9:30-9:50	1	間島渉	「提案型集約化施業」の現状と今後の役割—北海道の森林組合を事例として	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林政策学
N31	2017年2月2日	9:50-10:10	2	曾我部萌	小規模自治体における森林資源活用の取り組み—北海道中川町を事例として	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林政策学
N31	2017年2月2日	10:10-10:30	3	水野明洋	指定管理者制度導入が都市公園の管理運営に及ぼした影響—札幌市民との関係に着目して	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林政策学
N31	2017年2月2日	10:30-10:50	4	烏野亮祐	「提案型集約化施業」の現状と今後の役割—北海道の森林組合を事例として	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林政策学
N31	2017年2月2日	11:00-11:20	5	亀井佑矩	山岳性自然公園における登山道整備ボランティアの活動意識—大雪山とアディロンダックを事例として	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	花卉・緑地計画学
N31	2017年2月2日	11:20-11:40	6	伊倉万理	2016年台風10号による十勝川水系での土砂移動と河川地形の変化	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	流域砂防学
N31	2017年2月2日	11:40-12:00	7	野坂隆幸	扇状地模型を用いた流木混じり土石流の衝突荷重測定実験	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	流域砂防学
N31	2017年2月2日	12:00-12:20	8	柳井一希	和歌山県那智川流域における斜面崩壊面積と土石流規模の推定	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	流域砂防学
N31	2017年2月2日	13:20-13:40	9	河村洋和	鳥類の種数を規定する要因は季節によって変わるか? 全国データの解析による検証	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林生態系管理学
N31	2017年2月2日	13:40-14:00	10	埴岡雅史	農地景観における鳥類多様性の評価—耕作放棄の影響を推定する	環境資源学専攻	森林・緑地管理学講座	森林生態系管理学

## 2016年度(平成28年度) 北海道大学 大学院農学院 修士論文発表会(2017年2月7日)

## 13.生物生産工学セッション コーディネーター: 柴田洋一

発表会場	発表日	発表時間	発表順番	発表者	発表課題名	専攻	講座	専門科目
S12	2017年2月7日	10:00-10:20	1	河東 政道	堆肥化プロセスを利用したアンモニア除去法の検討	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学
S12	2017年2月7日	10:20-10:40	2	田中 美礼	廃棄物系バイオマスの熱物性の同定	環境資源学	生物生産工学	農業循環工学
S12	2017年2月7日	10:40-11:00	3	陳 賢賢	葉面受光量シミュレーションプログラムの開発と利用	環境資源学	生物生産工学	作物生産システム工学
S12	2017年2月7日	11:00-11:20	4	藤本みゆき	醸造用ブドウ機械収穫のためのマニピュレータの制御	共生基盤学	バイオマス転換学	バイオマス生産制御学
S12	2017年2月7日	11:20-11:40	5	楊 開元	チゼルプラウの基礎的研究	共生基盤学	バイオマス転換学	バイオマス生産制御学
S12	2017年2月7日	11:40-12:00	6	管 快斗	アミノ酸を用いた細菌の増殖抑制条件の最適化	共生基盤学	食品安全・機能性開発	食品総合技術監理学

S12	2017年2月7日	13:30-13:50	7	小山 健斗	確率論に基づく細菌挙動の数理モデル化:細菌集団の死滅時間の予測	共生基盤学	食品安全・機能性開発	食品総合技術監理学
S12	2017年2月7日	13:50-14:10	8	原田 立夏子	食品の加熱状況を可視化:メイラード反応を用いた温度インジケータの開発	環境資源学	生物生産工学	食品加工工学
S12	2017年2月7日	14:10-14:30	9	西川 知希	エンジンの流通販売過程における「黒ずみ症」発生条件の解明とその改善策の検討	環境資源学	生物生産工学	食品加工工学
S12	2017年2月7日	14:30-14:50	10	川人寛子	画像処理を用いた走行マーカー列検出による田植機自動操舵に関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2017年2月7日	14:50-15:10	11	曾雌弘平	レーザースキャナを用いたロボットトラクタの安全性確保に関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス
S12	2017年2月7日	15:10-15:30	12	梁 凌光	ドローンを用いたロボットボートのナビゲーションに関する研究	環境資源学	生物生産工学	ビークルロボティクス